

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

Table with 10 columns: 事業コード, 27, 事業名, 青年部中期活動ビジョンの実施, 戦略コード, 3, 戦略名, 事業者が主役の商工会, 担当部名, 企業振興部, 担当課名, 経営支援課, 担当課長名, 佐々木隆太, 施策コード, 14, 施策名, 青年部・女性部中期活動ビジョンの策定

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

各商工会の青年部・女性部は、地域づくりの原動力として重要な役割を果たしているが、部員数の減少等により組織活動は厳しい状況に置かれている。

2. 事業のねらい

将来を見据えた青年部・女性部活動について、主体的・自律的な活動を展開していくための中期活動ビジョンを作成する。

3. これまでの評価結果

Table with 7 columns: 過年度, H29, -, H30, H31, H32

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

【取組評価】

Table with 7 columns: 取組コード, 取組, 実績, 必要性, 有効性, 効率性, 総合評価. Rows include 65 (青年部中期活動ビジョンの策定・実施) and 66 (部員企業間におけるビジネスチャンスの創出).

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

Table with 17 columns: 取組コード, 66, 取組コード, 取組コード, 指標名, 部員間の取引件数, 指標名, 指標名, 年度, H29, H30, H31, H32, H33, 年度, H29, H30, H31, H32, H33. Includes rows for 目標, 実績, 達成率, 達成度.

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈評価の理由〉

ビジョンに基づく取組は組織強化に必要不可欠であるとともに、ビジネスチャンスの創出は部員の自社発展につながる。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) a

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

主張発表大会やスポーツ交流事業を有効に活用し、積極的に交流している。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)縮減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) b

〈コスト縮減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

これまでの課題を克服するための具体的な取組や将来のあるべき姿が明確になっており、ビジョンに沿って着実に実行できているため。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 B

ビジョンに掲げる事業承継への取組は、その重要性に対する認知度が高まっており、事業承継計画書としての成果も今後期待できる。

3. 課題

事業承継計画策定に向けた具体的な取組を積極的に実施する必要がある。

4. 今後の対応方針(改善点)

- ・秋田県事業承継相談センターの事業を積極的に活用することで、事業承継計画策定率を2割まで引き上げる。
・各事業において、更に積極的な部員間取引を進め、部員企業相互の経営基盤強化につなげる。